

第66期
事業報告書

2016年4月1日から2017年3月31日まで



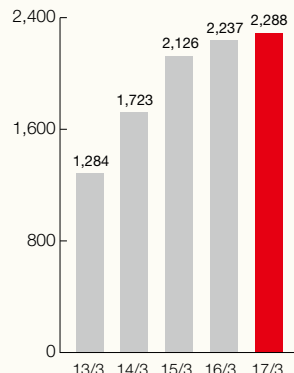
**GOOD
LIFE
GOOD
TOMORROW**

業績ハイライト

売上高

2,288 億円

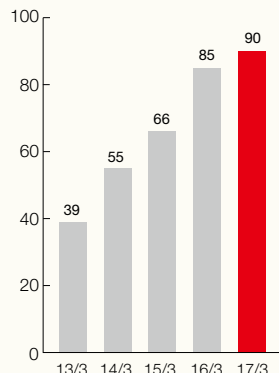
2.3% 増
(前期比+51 億円)



営業利益

90 億円

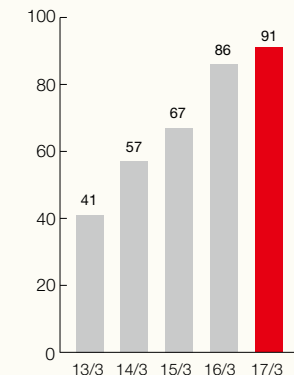
6.0% 増
(前期比+5 億円)



経常利益

91 億円

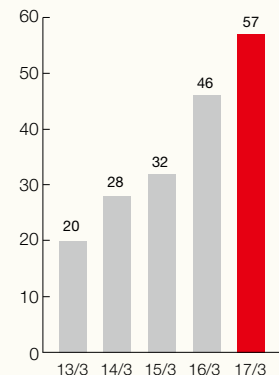
6.4% 増
(前期比+5 億円)



親会社株主に帰属する当期純利益

57 億円

24.0% 増
(前期比+11 億円)



単位：億円

ご挨拶

アクシアル リテイリングが誕生して、3年半が経過いたしました。

当社グループは、本年度の方針として「変革への挑戦」を掲げ、より強い企業体質を実現するため、グループ全体の経営基盤整備に取り組んでまいりました。

おかげさまで当期の業績は過去最高となりました。

今後も統合効果を十分に発揮し、チェーンストアとしてのメリットを地域の皆様に提供してまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

原 和彦



アクシアル リテイリング グループ経営理念

我々は毎日の生活に必要な品を
 廉価で販売し、
 より豊かな文化生活の実現に
 寄与することを目的とする。

アクシアル リテイリング グループビジョン

Advanced Regional Chain

アドバンスト

リージョナル

チェーン

お客様へより一層のメリットを提供するために、
 「強固で優良なリージョナル・チェーン※」を
 目指し、重点項目を掲げ、邁進してまいります。

※リージョナル・チェーン：一定数以上の店舗を出店している地域が2つ以上あるチェーンストア。

1 日本一のサービス

「判断の基準はお客様」を念頭に、お客様に満足していただけるよう、
 基本の徹底とレベルアップを図ってまいります。

2 SSM* 200店舗

一定数以上の適正規模を備えた店舗を有するチェーンストアの形成に
 より、お客様へスケールメリットを提供してまいります。

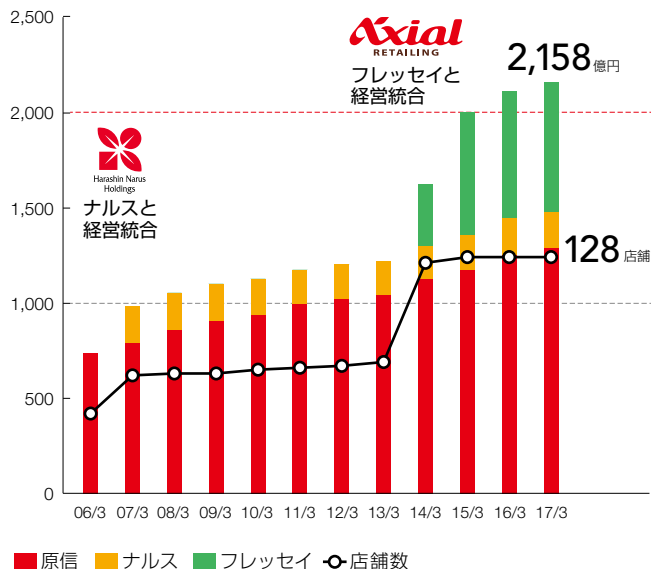
*SSM(Super Supermarket)：売場面積500～800坪のスーパーマーケットのこと。

3 信頼の構築

日々ご来店いただく多くのお客様や当社グループを取り巻く
 皆様から信頼していただける企業風土づくりに努めてまいります。

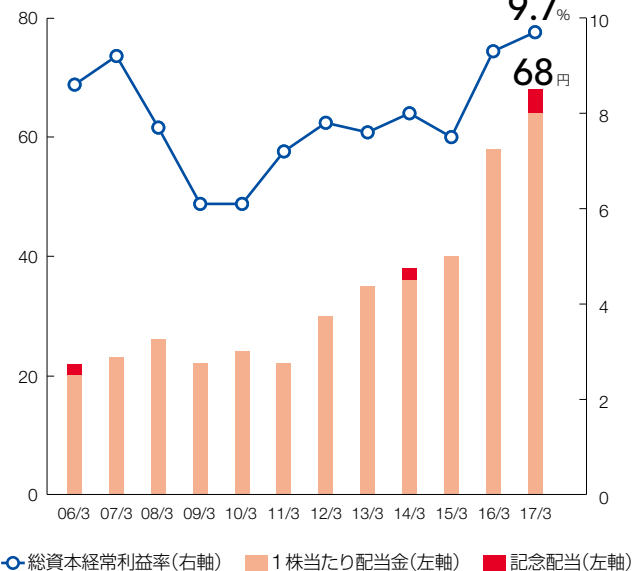
年間店舗売上高推移

(億円)



総資本経常利益率と配当金の推移

(円)



当期の概況

当期における当社グループの連結業績は、売上高が2,288億99百万円(前期比2.3%増)、営業利益が90億53百万円(前期比6.0%増)、経常利益が91億85百万円(前期比6.4%増)、親会社株主に帰属する当期純利益が57億84百万円(前期比24.0%増)となり、いずれも過去最高となりました。

(全般)

当期に入ってから、お客様の購買動向がより慎重な傾向に転じたことに加え、出店による自社競合の影響もあり、既存店の客数は、前期に比べ0.9%減少いたしました。

価格以上の価値が認められる商品やライフスタイルに合った商品を信頼のおける店舗で購入しようというお客様の傾向が見られており、当社グループがお客様にご提供する商品・サービスが評価され、既存店の売上高は、前期に比べ0.4%増加いたしました。

(商品政策)

当社ならではの名物商品の開発、既存商品の磨き込み、優良産地からの商品調達、品揃えの見直しに努めました。

一例として、総菜部門の焼き鳥を当社独自の商品仕様で新たに開発した結果、原信ナルスにおいて発売開始1か月で前年同月の2.8倍にあたる1億円以上を販売する大型商材となりました。また、たこ焼きを、専門店の味を家庭でも味わえるよう、とろみ感、たこの大きさ、スパイス感のあるソースの3つのポイントで商品を改良し、発売開始1か月で前年同月の2.5倍の売上にあたる5千万円の売上を実現いたしました。さらに、余分な味付けを控え素材本来のうま味を活かした商品「だし香るシリーズ」は、大変好評を得ており、品数、対象範囲を拡充いたしました。

プライベート・ブランド商品につきましては、新規発売したココアについて、発売前から販売促進を進め、各店舗が様々な販売方法を競い合い成功事例を共有したことで、発売開始1か月で10万個を超える販売実績を達成いたしました。

これらの結果、買上点数は、既存店で前期に比べ0.7%増加し、全店でも前期に比べ0.8%増加いたしました。また、一品単価は、既存店で前期に比べ0.7%増加し、全店でも前期に比べ0.7%増加いたしました。

(販売政策)

原信ナルスでは、本年度の方針に「潜在ニーズへの対応」を掲げ、お客様の潜在的なご要望にお応えするべく取り組みを行っており、従来にはない商品のご提案方法やサービス等について、創意工夫や仮説検証を行い、実績があったものについては、全社で共有し実行に移しております。

フレッシュイでは、時間帯別に最適な売場を実現するための仕組みを再構築し、全店で取り組み始めました。これらの結果、既存店の店舗売上高は、前期を上回る実績を確保することができ、商品販売の売上総利益率は、前期に比べ0.1ポイント増加し25.6%となりました。

(コスト・コントロール)

原信ナルス、フレッシュイが統合して以来進めている当社グループ全体での諸経費の見直し、共有、共同調達等の取り組みは、年々、その効果が増しております。

また、近年導入した自動発注の仕組みによる労働生産性の改善、省エネルギー機器の導入による水道光熱費の削減、環境維持活動への取り組みも効果が表れております。

この結果、スーパーマーケット事業の営業利益率は、前期に比べ0.1ポイント増加し3.7%となりました。

また、連結全体の営業利益率は、前期に比べ0.2ポイント増加し4.0%となりました。

(ロジスティックス)

当社グループでは4か所目の大規模物流センターとなるフレッシュイ前橋物流センター(9月、群馬県前橋市、延床面積9,516㎡)が竣工いたしました。また、併せて、フレッシュイの基幹系情報システムの入力替えも行いました。

これらは、原信ナルスで培った経験や技術を土台に改良を施して構築したものであり、フレッシュイにおいても、流通全般を支える高度な物的基盤が整いました。

また、当社グループ全体としても、最適な事業運営が実現できるよう、物流拠点間の連携を進めてまいります。

(発行体格付)

当社は、コーポレート・ガバナンスの充実に向けた取り組みの観点から、投資家様やお取引先様に対し当社の信用力を客観的に明示し、当社の財務内容に関する健全性や経営の成長性、透明性を理解して頂くため、毎期、中立的第三者より格付けを取得しております。

平成28年12月において取得した直近の格付けは、前期において取得したBBB+より一段階向上し、A-となりました。

(出店・退店等)

出店につきましては、フレッシュイ元総社蒼海店(9月、群馬県前橋市、売場面積2,228㎡)、原信花園店(10月、新潟県長岡市、売場面積2,097㎡)、原信七日町店(11月、新潟県長岡市、売場面積2,097㎡)、ナルス高田西店(3月、新潟県上越市、売場面積2,161㎡)を新設いたしました。

改装につきましては、原信新津店(8月、新潟県新潟市、売場面積2,392㎡)、原信十日町北店(9月、新潟県十日町市、売場面積1,888㎡)、原信新保店(2月、新潟県長岡市、売場面積1,917㎡)について実施いたしました。

退店につきましては、フレッシュイ元総社蒼海店の新設に伴い、近隣のフレッシュイ大友店(9月、群馬県前橋市、売場面積918㎡)を閉鎖し、原信七日町店の新設に伴い、近隣のナルス大島店(11月、新潟県長岡市、売場面積1,737㎡)を閉鎖いたしました。また、ナルス高田西店の新設に伴い、近隣の原信西城店(3月、新潟県上越市、売場面積1,515㎡)を閉鎖いたしました。

スーパーマーケットの店舗展開



新潟県、長野県、富山県に

77 店舗

原信
七日町店

原信
花園店

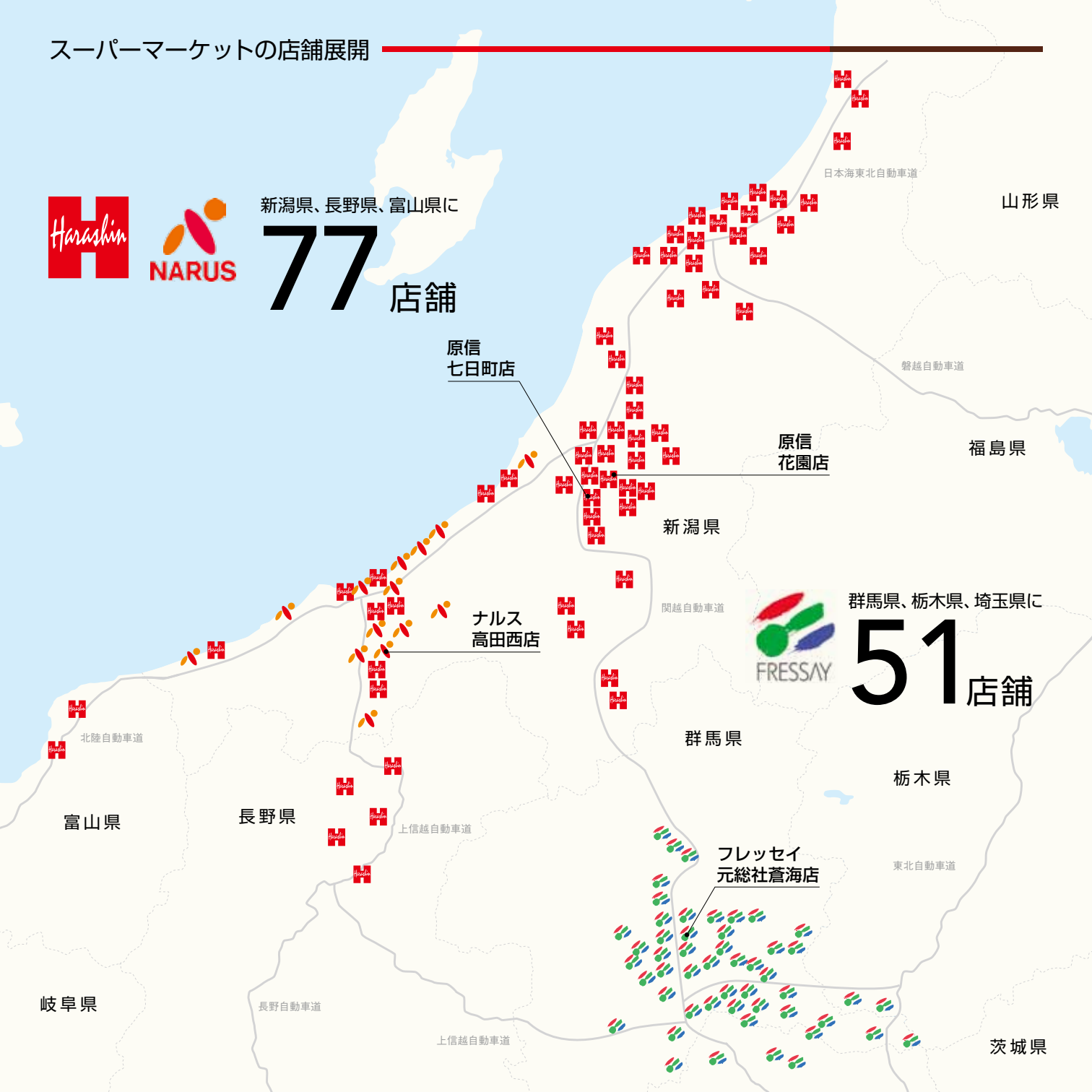
ナルス
高田西店



群馬県、栃木県、埼玉県に

51 店舗

フレッセイ
元総社蒼海店



主要財務データ

連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

| | 前連結会計年度 2016年3月31日 | 当連結会計年度 2017年3月31日 |
|----------------|-----------------------|-----------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | 23,443 | 22,890 |
| 固定資産 | 69,557 | 72,743 |
| 資産合計 | 93,001 | 95,634 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | 29,904 | 29,762 |
| 固定負債 | 17,856 | 16,081 |
| 負債合計 | 47,760 | 45,843 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | 43,842 | 48,155 |
| 資本金 | 3,159 | 3,159 |
| 資本剰余金 | 15,749 | 15,749 |
| 利益剰余金 | 24,990 | 29,304 |
| 自己株式 | △56 | △58 |
| その他の包括利益累計額 | 1,398 | 1,635 |
| 純資産合計 | 45,240 | 49,790 |
| 負債純資産合計 | 93,001 | 95,634 |

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

| | 前連結会計年度 2015年4月1日から 2016年3月31日まで | 当連結会計年度 2016年4月1日から 2017年3月31日まで |
|-----------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 10,079 | 10,083 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △6,141 | △7,178 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △4,839 | △3,849 |
| 現金及び現金同等物の増減額 | △901 | △943 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 12,210 | 11,308 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 11,308 | 10,364 |

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

| | 前連結会計年度 2015年4月1日から 2016年3月31日まで | 当連結会計年度 2016年4月1日から 2017年3月31日まで |
|------------------------|--|--|
| 売上高 | 223,709 | 228,899 |
| 売上原価 | 162,365 | 166,084 |
| 売上総利益 | 61,344 | 62,814 |
| 販売費及び一般管理費 | 52,800 | 53,761 |
| 営業利益 | 8,543 | 9,053 |
| 営業外収益 | 244 | 247 |
| 営業外費用 | 153 | 115 |
| 経常利益 | 8,634 | 9,185 |
| 特別利益 | 5 | 14 |
| 特別損失 | 1,196 | 665 |
| 税金等調整前当期純利益 | 7,443 | 8,533 |
| 法人税等合計 | 2,778 | 2,749 |
| 当期純利益 | 4,664 | 5,784 |
| 非支配株主に帰属する当期純利益 | — | — |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 4,664 | 5,784 |

連結包括利益計算書

(単位:百万円)

| | 前連結会計年度 2015年4月1日から 2016年3月31日まで | 当連結会計年度 2016年4月1日から 2017年3月31日まで |
|------------------|--|--|
| 当期純利益 | 4,664 | 5,784 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券 評価差額金 | △277 | 212 |
| 退職給付に係る調整額 | △43 | 24 |
| その他の包括利益合計 | △321 | 237 |
| 包括利益 | 4,343 | 6,021 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る包括利益 | 4,343 | 6,021 |
| 非支配株主に係る包括利益 | — | — |



アクシアルの焼き鳥

鶏肉はアクシアルオリジナルの仕様が大きくし、タレも旨味を引き立たせ、炭火で焼き上げました。発売開始1か月で1億円以上を売上げました。



アクシアルのたこ焼き

たこを大きめにカットし、軽い口当たりと専門店のとろみを実現しました。発売開始1か月で5千万円を売上げました。

毎年3月31日および9月30日現在の株主名簿に記載または記録された、100株以上を保有される株主の皆様に対して、下記の贈呈基準をもとに、株主優待券（以下、「お買い物割引券」と表記します。）あるいは株主優待品の中から一点をご選択いただき贈呈いたします。

1. 株主優待制度の内容

- ① 贈呈内容 お買い物割引券または株主優待品のいずれかをお選びいただけます。
各々の贈呈基準は「2. 株主優待制度の贈呈基準」を参照ください。（お買い物割引券と株主優待品の両方を選択することはできません。）
- ② 対象者 100株以上の株主
- ③ 贈呈基準 3月31日および9月30日現在の株主を対象に年2回実施
- ④ 贈呈方法 対象者に案内書を送付し、案内書に添付された申込書に必要な事項をご記入の上ご返送いただき、申込書と引き替えに商品等を贈呈いたします。

2. 株主優待制度の贈呈基準

(1) お買い物割引券(額面100円)

① 贈呈基準

| | | | | | |
|----------|----------|------|----------|----------|------|
| 100株以上 | 500株未満 | 15枚 | 3,000株以上 | 4,000株未満 | 150枚 |
| 500株以上 | 1,000株未満 | 30枚 | 4,000株以上 | 5,000株未満 | 200枚 |
| 1,000株以上 | 2,000株未満 | 50枚 | 5,000株以上 | | 250枚 |
| 2,000株以上 | 3,000株未満 | 100枚 | | | |

② 使用方法

一回のお買上金額1,000円以上につき、1,000円ごとに1枚(割引額100円)利用可能

③ 使用できる店舗および対象商品

原信、ナルス、フレッセイの直営売場における全商品
(ただし専売品・商品券・その他指定商品は除く。)

④ 有効期限

3月31日現在の株主へのお買い物割引券は、配布日から翌年1月31日まで
9月30日現在の株主へのお買い物割引券は、配布日から同年7月31日まで

(2) 株主優待品の贈呈基準

贈呈基準

| | | |
|----------|----------|---|
| 100株以上 | 500株未満 | クオカード1,000円分 |
| 500株以上 | 1,000株未満 | 以下の2品より1品お選びいただけます。 <ul style="list-style-type: none"> ・クオカード2,000円分 ・新潟県産こしひかり(米)5kg |
| 1,000株以上 | | 以下の3品より1品お選びいただけます。 <ul style="list-style-type: none"> ・クオカード3,000円分 ・新潟県産こしひかり(米)10Kg ・自社開発商品詰め合わせ1セット |

New Concept II+

お客様に、より豊かに楽しく便利なお買い物をしていただくために、原信とナルスでは「ニューコンセプトII+（ツープラス）」というコンセプトで、新しい商品展開に挑んでいます。

「ニューコンセプトII」導入から5年が経過し、さらに営業戦略を進化させた「ニューコンセプトII+」では、お客様の健康志向や時短ニーズの高まり、個食化の進行に対応した品ぞろえと、部門の枠を越えた食卓シーンの売場に変更しています。

365日、朝昼晩の食卓に登場するサラダは、手作り・時短・即食をテーマに、素材からトッピング、器までを提案する売場にしています。原信花園店と七日町店、ナルス高田西店は、「ニューコンセプトII+」での新店としています。



365日
サラダ
ライフ



原信
花園店



デザート
コレクション



インスタカットサラダ

素材の味を新鮮かつ手軽にご利用頂けるよう、キャベツ、レタスを店内でカットしています。



ナポリピザ

専用の窯で焼く本格的なナポリピザは、ご注文頂いてから焼き立てを提供しています。



ミートデリ

手羽先、手羽元、煮豚など、肉屋ならではの惣菜を販売しています。



魚菜

旬な魚を素材を活かした調理方法で販売しています。

会社データ

会社の概要

| | |
|-------|-------------------------------------|
| 商号 | アクシアル リテイリング株式会社 |
| 設立 | 1967年(昭和42年)8月 |
| 所在地 | 新潟県長岡市中興野18番地2 |
| | Tel: 0258-66-6711 Fax: 0258-66-6727 |
| 資本金 | 31億5,971万2,610円 |
| 上場取引所 | 東京証券取引所市場第1部 |
| 証券コード | 8255 |

取締役、執行役員および監査役

| | |
|-------------|----------------------|
| 代表取締役社長 | 原 和彦 |
| 代表取締役副社長 | 植 木 威 行 |
| 取締役副社長・執行役員 | 五十嵐 安 夫 |
| 専務取締役・執行役員 | 山 岸 豊 後 |
| 常務取締役・執行役員 | 小 出 朗 |
| 取締役・執行役員 | 森 山 仁 |
| 取締役・執行役員 | 丸 山 三 行 |
| 取締役・執行役員 | 加 部 敏 夫 |
| 取締役・執行役員 | 中 川 学 |
| 取締役 | 細 貝 巖 (社外取締役・独立役員) |
| 取締役 | 新 原 皓 一 (社外取締役・独立役員) |
| 執行役員 | 吉 田 浩 和 (財務経理部長) |
| 執行役員 | 松 口 克 彦 (総務部長) |
| 執行役員 | 小 林 政 信 (経営企画部長) |
| 執行役員 | 丸 山 将 範 (TQM推進部長) |
| 執行役員 | 松 田 易 伸 (物流企画部長) |
| 執行役員 | 石 田 直 樹 (品質安全部長) |
| 常勤監査役 | 八 子 淳 一 (社外監査役) |
| 常勤監査役 | 藤 田 友三郎 |
| 常勤監査役 | 岩 崎 良 次 |
| 監査役 | 金 子 健 三 (社外監査役) |

株主メモ

| | |
|-------------------|---|
| 事業年度 | 4月1日から3月31日まで |
| 定時株主総会 | 毎年6月 |
| 中間配当基準日 | 9月30日 |
| 期末配当基準日 | 3月31日 |
| 株主優待制度 | 有(年2回) |
| 株主名簿管理人 | 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 |
| 同事務取扱場所 | 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 |
| （お問合せ先 郵便物送付先） | 東京都江東区東砂七丁目10番11号 |
| | 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711(フリーダイヤル) |